

審査の結果の要旨

氏名 折戸 えとな

本論文は5章からなる。

第I章「論文の目的と構成について」では、本論文の研究背景、問題意識と目的が述べられ、論文全体の構成が示されている。市場原理主義の浸透により自然と人、人との関係性はそのつながりが見えにくくなり、さらに社会的紐帯が解体され、経済倫理的課題が問われる中で、切り離され、離床してしまった経済を、社会にふたたび埋め込み、人間存在がいか「全人的存在」を回復することがいかに可能なかを問うということが本論文の目的である。埼玉県小川町にある霜里農場の40年余の社会的実践である「お礼制」という独自の仕組みを研究事例として、現場から理論を立ち上げることを試みている。有機農業運動の中で提示されてきた「提携」の一形態とも言える「お礼制」を分析する中で、経済関係に関わる「責任」「自由」「信頼」の意味を検証し、それを「もろとも」の関係性という概念を立てることでその問題の本質を論じている。この第1章では、その理論的な検討の一步として、カール・ポランニーの「埋め込み命題」と、それを継承した玉野井芳郎の「生命系エコノミー」、「広義の経済学」の到達点と限界を検討し、一方で、宇沢弘文が提唱した、市場経済と非市場の境に存在しこの二つの領域を結びつける結節点である「社会的共通資本」も含めて、市場経済を再び社会に埋めもどすという共通した問題意識と課題を検討することによって、本論文の理論的な枠組みを提示している。

第II章『「お礼制」と『もろとも』の関係に関する理論的枠組みとその背景』では、「もろとも」の概念的な枠組みを検討している。その言葉の出自、それが二つの位相を持つこと、そして、それが、「責任」「自由」「信頼」という三つの構成概念を含んだ概念であることを踏まえ、ポランニーの議論を検討している。そして、『大転換』の最終章の“Resignation”を「覚悟して受け入れる」と捉え直し、そのことの中に「再び埋め込まれる」ことの意義を提起している。

第III章『「お礼制」と地域に埋め込まれる社会的諸関係（事例研究）』では、「お礼制」消費者となった尾崎史苗、小川町の造り酒屋の中山雅義、豆腐屋を商う渡辺一美、下里集落を有機農業に転換させるきっかけとなった村の長老的存在の慣行農家であった安藤郁夫、そしてこの下里集落と会社法人として関わり始めた埼玉県のリフォーム会社の社長山本拓己といった、霜里農場の金子美登を中心とする6名の詳細なライフヒストリーの聞きとり調査を行い、それを立体的に構成する中から「お礼制」の意味を提示しようとしている。

第IV章『「お礼制」とはなにか（事例分析）』では、前章の事例研究に基づき、周辺領

域のさまざまな研究に基づいて領域横断的な形で、「お礼制」を多面的な形で分析を行い、自然の不確実性への対応と価格メカニズムからの自由という「百姓としての人間的解放」の二つの意味などを明らかにしている。さらに、「再生産」の概念、贈与的仕組みが長期的なつきあいの中で、生産者と消費者の対等性の担保、双方が担う「責任」とその結果もたらされる「自由」と「信頼」などについても検討している。そして、自然と共に生きる農民の抱える「ヴァルネラビリティ〔脆弱性〕」の概念と、そのことのモラル・エコノミー的な意味、それが決して単なる弱さではなく、むしろ人と人をつなぎ直し、人間の生の全体性を回復させ、結果的に経済関係をふたたび社会関係の中に埋め込む契機となっていることを明らかにしている。

第V章『『お礼制』に埋め込まれた『もろとも』の関係性』では、「お礼制」に埋め込まれた「もろとも」の関係性の理論的射程について論じている。生産者と消費者の立場の非対称性を顕在させた原発事故災害のような危機に際して、自らの意志を持って他者に向かい合い、共に責任を担おうとする姿勢を表明した「もろとも」という言葉が、身体、市場、時間における多様な他者性をも含む概念として提示され、「責任」「自由」「信頼」を個の位相、及び社会的存在としての人間に位置付け、環境と経済の相克を乗り越え、他者と共に「より善く生きる」ことに繋がりうるような概念として提示されている。

このように、本研究は、経済関係における「責任」「自由」「信頼」といった、経済倫理的な本質的な大きな課題に対して、有機農業における「お礼制」という特異な「現場」から関係者のていねいなライフヒストリーの聞き取りを通じて、「もろとも」という新たな概念を構築することで、いままで十分にリアリティを持って提示することができなかった本質的な問題に新たな光を当て、経済倫理的、かつ環境倫理的な一つの展望を開く研究となっている。オリジナリティが高く、また、「提携」を理論的に位置付ける研究としても重要な貢献をしている。

したがって、博士（環境学）の学位を授与できると認められる。

以上1998字